

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	[倫理審査受付番号：第 5005 号] 全病院的な医療器具関連感染サーベイランスの評価
研究責任者氏名	兵庫医科大学 感染制御学 中嶋 一彦
研究機関長名	兵庫医科大学長 鈴木 敬一郎
研究期間	2025 年 4 月 15 日～2028 年 3 月 31 日
研究の対象	以下に該当する患者さんを研究対象とします。
	下記の期間に兵庫医科大学病院に入院した方の中で中心静脈カテーテル留置もしくは尿道カテーテル留置もしくは人工呼吸器管理された方
	受診日：西暦 2020 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の種類	<input type="checkbox"/> 試料等 <input checked="" type="checkbox"/> カルテ情報 <input type="checkbox"/> アンケート <input type="checkbox"/> その他（ ）
	取得の方法： <input checked="" type="checkbox"/> 診療の過程で取得 <input type="checkbox"/> その他（ ）
研究目的・意義	<p>入院中の治療の過程で中心静脈カテーテルを留置したり尿道カテーテルを留置したり、人工呼吸器管理される場合があります。これらの医療器具を用いた治療は医療関連感染のリスクにもなりえます。近年、医療関連感染を防ぐために、医療器具を留置した症例を把握して、何が原因だったのかを調査する（医療関連感染サーベイランスといいます）ことが、病院機能評価においても推奨されています。</p> <p>兵庫医科大学病院でも、全病院的に医療関連感染サーベイランス（中心ライン関連血流感染、カテーテル関連尿路感染、人工呼吸器関連肺炎、人工呼吸器関連イベント）を実施しています。</p> <p>今回、サーベイランス開始することによって各種の感染率が低下したのか、そして各感染における感染のリスク因子を評価します。各感染における感染のリスク因子が明らかになれば、医療関連感染を未然に防ぐことに寄与できるものと考えます。</p>
研究の方法	2020 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日の期間で、兵庫医科大学病院に入院した方の中で中心静脈カテーテル留置もしくは尿道カテーテル留置もしくは人工呼吸器管理された方が対象となります。

	<p>その対象の方のなかで、医療関連感染（中心ライン関連血流感染、カテーテル関連尿路感染、人工呼吸器関連肺炎、人工呼吸器関連イベント）の有無を評価します。</p> <p>調査項目として、入院期間、検査値（BUN、Cre、eGFR、AST、ALT、WBC、CRP、体温）、性別、年齢、中心静脈カテーテルのルーメン数、中心静脈カテーテルの挿入部位、マキシマルプリコーション、中心静脈カテーテルの挿入日数、デバイス管理の日数、皮膚消毒の種類、APACHE スコア、SOFA スコア、手術の有無、併存疾患（糖尿病、心疾患・高血圧、慢性の肺疾患、悪性腫瘍、慢性腎臓病、脂質代謝異常症、喘息、免疫抑制状態の有無）、ステロイド/免疫抑制剤/生物製剤の投与の有無、呼吸状態（ECMO、人工呼吸器管理、NHF、マスク、鼻カヌラ）を調査します。</p> <p>そして、どの因子が医療関連感染に影響を与える因子なのか明らかにします。</p>
<p>個人情報の取扱い</p>	<p>収集したデータは、誰のデータが分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。</p>
<p>本研究に関する連絡先</p>	<p>兵庫医科大学病院 感染制御部 看護師/看護部 副師長：石川 かおり 連絡先：（平日 8 時 30 分～16 時 45 分）0798 - 45 - 6689 （上記時間以外） 0798 - 45 - 6111</p>